

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名 2 評価責任者氏名								
	事務事業名		H27決算額(円)	事務事業評価								
			内 直接事業費 内 人件費	3 妥当性評価 4 有効性評価 5 効率性評価								
1	学校教育の充実 50101010	教育委員会及び教育委員会事務局の円滑な運営を図る。教育委員会は、「学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を行う」ために設置された行政委員会である。	6,149,376	事務事業評価					開かれた教育行政運営のため、ホームページ等への教育委員会の会議内容の掲載を速やかに行う必要がある。	教育委員会の会議内容を、速やかにホームページに掲載するよう心がけ実行した。	教育行政に対する市民や保護者の期待に応えるため、教育に関する現状と課題の把握に努めるとともに、市民の理解が深まるように情報発信の工夫に努める。	
			2,843,610	1 教育部 教育総務課								
			3,305,766	2 三竹 雅雄								
			6,436,913	3 高い								
			3,452,756	4 普通								
		2,984,157	5 普通						改善の効果	低い		
2	学校教育の充実 50101020	小規模校の適正化と津波地震への防災対策を図り、適正な学級規模を確保することで、児童・生徒の切磋琢磨を促し、一人ひとりの個性の伸張を図る。	65,746,396	事務事業評価					平成26年12月に学校全体配置計画を策定。児童数120人未満の10小学校、生徒数120人未満の3中学校を対象に学校再編を検討する必要がある。	・和地・堀切・伊良湖小が平成27年4月に統合して伊良湖岬小学校として開校。野田中学校が平成28年4月から田原中学校に統合。 ・伊良湖岬小学校校歌製作及び校旗購入 ・野田中学校用バス停駐輪場整備 ・野田中学校と田原中学校との交流	・伊良湖岬中学校の統合先・統合時期の決定 ・泉中学校の再編の統合先・統合時期の決定 ・新設の伊良湖岬小学校を平成32年度に建設 ・学校の適正規模による望ましい教育環境の構築のため、地域の意見を十分に尊重して、地域の合意形成のもと学校再編を段階的に進める。	
			60,182,845	1 教育部 教育総務課								
			5,563,551	2 三竹 雅雄								
			9,146,721	3 極めて高い								
			4,705,843	4 高い								
		4,440,878	5 高い						改善の効果	高い		
3	学校教育の充実 50101030	教育基本法の趣旨にのっとり、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興のため、一人ひとりの児童生徒に応じた教育の充実を図るとともに、地域の魅力を生かした学校教育の充実を図る。	23,055,587	事務事業評価					支援の手法、活動成果の評価方法、指導主事の受入人数(教職員全体の受入人数の妥当性)等について引き続き検討する。	子どもたちの学力向上の基盤となるのは教員の指導力である。研修を充実させるためにも指導主事の派遣をさらに充実させることが望まれているが、指導主事の数については現状維持となった。	支援の手法、活動成果の評価方法、指導主事の受入人数(教職員全体の受入人数の妥当性)等について引き続き検討する。	
			21,167,679	1 教育部 教育総務課								
			1,887,908	2 三竹 雅雄								
			38,443,284	3 高い								
			36,365,916	4 普通								
		2,077,368	5 普通						改善の効果	普通		
4	学校教育の充実 50101040	児童生徒の各種大会への参加を支援することにより、体育的及び文化的活動を通じた交流による教育的効果の向上を図るとともに、選手派遣に伴う保護者負担の軽減を図る。	17,167,286	事務事業評価					児童生徒が高水準な体育的・文化的活動へ積極的に参加することにより、知識及び技術の向上を支援する。参加費、旅費等の保護者負担が増大することが課題である。	事業対象が大会参加選手のみであったが、部活動全体を事業対象としたことにより、幅広く児童生徒の知識及び技術の向上が図られた。	児童・生徒の各種大会参加支援に伴う、保護者負担を引き続き軽減するとともに、借上げバスや公共交通機関を利用した移動手段を検討し、単位コストの縮小を図る。	
			16,743,470	1 教育部 教育総務課								
			423,816	2 三竹 雅雄								
			17,600,098	3 高い								
			17,068,314	4 普通								
		531,784	5 普通						改善の効果	普通		
5	学校教育の充実 50101050	小学校(18校)の施設設備の適切な維持管理を計画的に行うことにより、建物の長寿命化を図り、良好な教育環境を保持するとともに、児童の安全・安心を確保する。	387,553,434	事務事業評価					光熱水費について、各学校へ前年度実績などを提示して、教育活動に支障のない範囲で執行管理の徹底を図り、経費節減に努める。引き続き学校施設について、安全性を確保するための整備に努める。	学校事務職員と連携し、教育活動に支障のない範囲で経費節減に努めた。非構造部材等の落下防止対策を実施した結果、避難所となる屋内運動場の安全性が高まった。	施設全体の老朽化が進んでいることから、維持管理(保守点検)に関する費用は増加することが予想される。そのため、小中学校の整備計画を策定し、また、保守点検結果等を基に優先順位を決め、適切に更新・改修を進める。	
			285,490,765	1 教育部 教育総務課								
			102,062,669	2 三竹 雅雄								
			611,334,001	3 高い								
			523,478,069	4 普通								
		87,855,932	5 普通						改善の効果	普通		
6	学校教育の充実 50101060	児童及び教職員用のコンピュータ環境を整備し、コンピュータを活用することにより、児童一人ひとりの学習に対する興味関心を高め、学習指導の個別化を図りながら資料活用能力を育成するとともに、教職員等の管理運営の情報化を推進する。	67,125,890	事務事業評価					児童生徒の情報教育環境・教育効果の向上の観点にたち、計画的なパソコン更新が行えるよう、取り組んでいるが、効率性(コスト削減)を検討する必要がある。	リース料は減額となったが、年数の経過したパソコンを使用しているため、修理代等保守料の経費割合は、全体予算の中でも比較的高めである。	文部科学省の「教育の情報化ビジョン」を踏まえ、教科や教室を問わず活用できるタブレットPCの導入等、ICT環境の変化に対応した整備を進める。	
			64,706,200	1 教育部 教育総務課								
			2,419,690	2 三竹 雅雄								
			70,837,798	3 高い								
			67,753,450	4 普通								
		3,084,348	5 普通						改善の効果	普通		
7	学校教育の充実 50101070	経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等、学校にかかる費用の一部を援助する。	22,852,474	事務事業評価					社会情勢の変化に対応して適正な給付を行うため、認定基準、給付費目、給付方法の検討を引き続き行う必要がある。	近隣市を参考に、社会情勢に応じた給付を適正に行った。電算リストを活用し、事務の効率化を図った。	社会情勢の変化に対応して適正な給付を行うため、認定基準、給付費目、給付方法の検討を引き続き行う。	
			21,494,939	1 教育部 教育総務課								
			1,357,535	2 三竹 雅雄								
			23,482,561	3 極めて高い								
			22,074,117	4 極めて高い								
		1,408,444	5 普通						改善の効果	普通		

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名									
	事務事業名		H27決算額(円)	2 評価責任者氏名									
			内 直接事業費	3 妥当性評価									
			内 人件費	4 有効性評価									
				5 効率性評価									
8	学校教育の充実	中学校(7校)(旧野田中、岬中、泉中の3校は除く。)の施設設備の適切な維持管理を計画的に行うことにより、建物の延命化を図り、良好な教育環境を保持するとともに、生徒の安全・安心を確保する。	191,930,402	事務事業評価					光熱水費について、各学校へ前年度実績などを提示して、教育活動に支障のない範囲で執行管理の徹底を図り、経費節減に努める。引き続き学校施設について、安全性を確保するための整備に努める。	学校事務職員と連携し、教育活動に支障のない範囲で経費節減に努めた。非構造部材等の落下防止対策を実施した結果、避難所となる屋内運動場の安全性が高まった。	施設全体の老朽化が進んでいることから、維持管理(保守点検)に関する費用は増加することが予想される。そのため、小中学校の整備計画を策定し、また、保守点検結果等を基に優先順位を決め、適切に更新・改修を進める。		
	50101290		141,160,754	1 教育部 教育総務課								改善の効果	普通
	中学校管理運営事業(50101290,50101330~50101390)		50,769,648	2 三竹 雅雄									
			266,066,536	3 高い									
			219,515,381	4 普通									
46,551,155		5 普通											
9	学校教育の充実	一人一人の児童生徒に応じた教育を充実させるために、必要な人材を配置する。 ・児童生徒が地域に親しむために、地域の環境や人材を生かした教育活動を推進する。	101,369,113	事務事業評価					一人一人の児童生徒に応じた教育を充実させるとともに、子供のキャリア発達を促していく必要がある。 ・児童生徒が自ら考え学習する力を育成するための教育環境をより高める必要がある。	・キャリア教育推進事業として「夢の教室」事業を実施した。夢や目標をもつこと、仲間と協力することの大切さについて学ぶことができた。 ・学びのみかた非常勤講師を増員し、きめ細かな指導の充実を図った。	・児童生徒一人一人に対応したきめの細かい学習を保障するため、授業に関わる人員を増員し、質の高い授業を行う。 ・発達障害のある児童生徒等への支援を厚くするため、学習支援員等の増員を行う。		
	50102010		60,824,429	1 教育部 学校教育課								改善の効果	高い
	学校教育推進事業		40,544,684	2 鈴木 欽也									
			92,119,471	3 高い									
			51,149,532	4 高い									
40,969,939		5 高い											
10	学校教育の充実	・児童生徒が英語に慣れ、国際理解を深めるために、外国青年語学講師(ALT)を中学校に派遣する。 ・英語に親しみ英語を通したコミュニケーションの素地を養うために、英語指導助手を小学校5・6年の英語活動の時間に派遣する。	23,334,468	事務事業評価					・ALT4人体制で市内全小中学校に派遣している。地域の英語の堪能な方を英語指導助手として11人雇用し、市内全小学校へ派遣し、英語活動の充実を努めている。 ・小学校の英語活動において、将来の教科化を見据えた指導方法の充実を図る必要がある。	・指導主事による学校巡回を行い、指導助言を行うことで、英語指導助手の資質向上とチームティーチングの改善を図った。 ・年3回の英語指導助手研修を行い、指導方法等を共有することができた。	・数年後に予定される小学校英語の教科化に対応するため、教材の開発や指導方法の研修等を充実していく。 ・英語教育の一層の充実を図るため、実践的な研修の機会を増やしていく。 ・児童生徒が英語に親しむ機会を増やし、国際理解を深める。		
	50102020		21,724,943	1 教育部 学校教育課								改善の効果	高い
	国際理解教育推進事業		1,609,525	2 鈴木 欽也									
			25,716,609	3 高い									
			22,601,353	4 高い									
3,115,256		5 高い											
11	学校教育の充実	アメリカ・ジョージタウン市とギブソン郡及びプリンストン市、中国・昆山市、韓国・銅雀区との中学生の派遣と受け入れを通して、国際交流を推進する。	8,466,915	事務事業評価					・アメリカ・ジョージタウン市とアメリカ・ギブソン郡及びプリンストン市とを隔年で行う事業を行っている。 ・中国・昆山市と韓国銅雀区との交流は現在休止している。 ・多くの中学生が交流に関わることができるように工夫する必要がある。	・海外交流の実施について、各学校にアンケート調査を行い、より効果的に事業が展開できるようになった。	・学年・全校生徒に交流が広がるように、各中学校での取組を積極的に知らせる。 ・校内での報告会をより工夫する。 ・校内の掲示板等を活用し、国際交流コーナーを設置する。		
	50102030		3,755,223	1 教育部 学校教育課								改善の効果	普通
	中学生海外交流事業		4,711,692	2 鈴木 欽也									
			7,579,718	3 高い									
			3,542,431	4 普通									
4,037,287		5 普通											
12	学校教育の充実	不登校児童・生徒、悩みを抱えた児童・生徒に対し、学校・家庭等との連携を図りながら、きめ細かな相談や指導及び助言を行う。中学校における相談や小学校における個別指導などの教育活動を支援する。	28,352,936	事務事業評価					・前年度に比べ、中学校における不登校生徒が減少した。しかし、登校はできているものの、教室で過ごすことができない生徒の数は、逆に少し増加している。 ・悩みを抱えた児童生徒数は増加しており、問題行動につながる事が多く、心のケアを必要としている。	・組織の改善を行い、各担当ごとの役割の明確化と連携の強化を図った。職員が今まで以上に動きやすくなり、教育サポートセンターとしての機能が高まった。	・教育相談、カウンセリングについての要望が多く、時間数の増加や直接相談に出かける巡回活動を充実する。		
	50102040		11,683,942	1 教育部 学校教育課								改善の効果	高い
	教育サポートセンター事業		16,668,994	2 鈴木 欽也									
			23,939,333	3 極めて高い									
			6,740,244	4 高い									
17,199,089		5 高い											
13	学校教育の充実	教職員の資質及び指導力の向上を図るために、適時に研修を行う。校内での現職研修を充実させるために研修委託を行う。研究指定校や教育課題研究校による教育活動の研究推進を支援する。	12,808,439	事務事業評価					・教職員には、常に指導力の向上が義務付けられている。最新の教育について研究を進めるとともに、広く内容を周知することで、各校の研修を進める必要がある。	・愛知県教育委員会からの研究委嘱について、実践研究を進めた。 ・教育研究校を指定し、教育課題の解決や教育研究を推進した。	・愛知県教育委員会からの研究委嘱について、実践研究を進める。 ・教育研究校を指定し、教育課題の解決や教育研究を推進する。		
	50102050		4,339,353	1 教育部 学校教育課								改善の効果	高い
	教員研修事業		8,469,086	2 鈴木 欽也									
			14,004,814	3 高い									
			4,159,902	4 高い									
9,844,912		5 普通											
14	学校教育の充実	学校保健安全法に基づき、小学校18校の児童及び小学校教職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見や予防のために適正な健康管理を図る。	24,605,210	事務事業評価					児童及び小学校教職員の健康を管理し、疾病の早期発見、予防に適切に対応する必要がある。	・悉皆調査を行うことで、疾病の早期発見、予防ができた。	・悉皆検査を行い、疾病の早期発見予防に努め、健康管理を図る。		
	50102060		22,623,204	1 教育部 学校教育課								改善の効果	高い
	児童・職員健康管理事業		1,982,006	2 鈴木 欽也									
			22,820,940	3 高い									
			20,773,006	4 高い									
2,047,934		5 高い											

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
事務事業名			H27決算額(円)										
			内 直接事業費 内 人件費	1	2	3	4	5					
15	学校教育の充実	指導の効果を高めるために、明るい心、みんなの安全、楽しい体育、ことばのきまり等の補助教材を購入する。効率よく児童を指導するために、教師用指導書、教材資料等を購入する。	6,192,672	事務事業評価					・教科書のない道徳、安全教育、体育等の教育向上と維持が重要である。	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	50102070		4,575,772	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 普通	4 高い	5 高い					
	小学校教材購入事業		1,616,900	3 普通	4 高い	5 高い	改善の効果	高い					
			39,558,515	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い						4 高い	5 高い
			37,867,873	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い						4 高い	5 高い
1,690,642		1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い	4 高い	5 高い							
16	学校教育の充実	学校保健安全法に基づき、中学校7校の生徒及び中学校職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見や予防のために適正な健康管理を図る。	17,174,848	事務事業評価					・生徒及び中学校職員の健康を管理し、疾病の早期発見、予防に適切に対応する必要がある。	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	50102080		15,192,842	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い	4 高い	5 高い					
	生徒・職員健康管理事業		1,982,006	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い	4 高い	5 高い					
			17,299,207	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い	4 高い	5 高い					
			15,251,273	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い	4 高い	5 高い					
2,047,934		1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 高い	4 高い	5 高い							
17	学校教育の充実	学校・家庭・地域が信頼関係を深め、協力して子供の教育に関わることを通して地域の絆を深め、生きる力を育むことができるように、子供の教育に関わる体制を構築する。学校・家庭・地域が連携した事業を充実させ、次世代を担う人材育成に取り組む。	0	事務事業評価					地域とともにある学校づくりを推進していくため、学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携した事業を実施。学校支援だけでなく、地域の問題を解決したり将来の田原市を担う人材育成につなげていくことを視野に入れ、地域との協働による事業を実施することが必要。推進していくためには取組について周知していく必要がある。	実施している事業について報道機関等に投げ込みをするなどして広報に力を入れた。また、事業の内容や効果などをまとめた冊子やリーフレットを作成し地域や学校に配布した。学校と地域が連携した事業の周知が図られるとともに、関わっている人の意識の高揚も図ることができた。	「地域の大人から子供も学ぶ」、「教えることにより大人が学ぶ」という2つの視点をもって事業を進めていく。子供や地域等が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みづくりや地域活性化につなげる取組を行い、人材育成、地域活性化、共有推進につながる体制の構築を進めていく。		
	50102090		0	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 極めて高い	4 高い	5 高い					
	共有推進事業		34,181,030	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 極めて高い	4 高い	5 高い					
			23,954,429	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 極めて高い	4 高い	5 高い					
			10,226,601	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 極めて高い	4 高い	5 高い					
0		1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
18	学校教育の充実	指導の効果を高めるために、明るい人生、中学生の安全、図説中学生体育、ことばのきまり等の補助教材を購入する。効率よく生徒に指導するために、教師用指導書、教材資料等を購入する。	4,640,646	事務事業評価					・教科書のない道徳、安全教育、体育等の教育向上と維持が重要である。	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	50102490		3,023,746	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 普通	4 高い	5 高い					
	中学校教材購入事業		1,616,900	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 普通	4 高い	5 高い					
			4,585,788	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 普通	4 高い	5 高い					
			3,032,377	1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 普通	4 高い	5 高い					
1,553,411		1 教育部 学校教育課	2 鈴木 欽也	3 普通	4 高い	5 高い							
19	学校教育の充実	伊良湖岬小学校の新たな校舎を伊良湖岬中学校跡地等に整備し、教育環境を図る。	0	事務事業評価					用地測量調査、物件補償調査及び基本計画設計業務を実施 拡張用地の確保	平成32年度建築に向け事業を推進	実施設計業務、用地確保及び建築工事等を着実に実施		
	50103030		0	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
	伊良湖岬小学校整備事業		0	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
			9,290,424	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
			8,683,200	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
607,224		1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通							
20	学校教育の充実	野田小学校敷地が県道で分断されている問題を改善するため、園児・児童・生徒の食事を改善するため、校舎・屋外運動場へ屋内運動場を整備し、児童に対する安心安全な学校施設の整備を図る。	0	事務事業評価					屋内運動場建設工事地質調査及び設計業務を実施	平成28年度建築に向け事業を推進	平成28年度に建築工事		
	50103040		0	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
	野田小学校整備事業		0	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
			17,357,243	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
			13,303,440	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通					
4,053,803		1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通							
21	学校教育の充実	給食センターの維持管理・運営を行い、給食を実施することにより、園児・児童・生徒の食事についての正しい理解と望ましい食習慣を養い、合理的な栄養摂取による健康増進を図る。	755,343,498	事務事業評価					安全で安心なおいしい給食を提供していく。残食率の低減に努める。地元食材の使用率は、大きくは伸びないと考えられるが工夫をしていく。	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	50104020		737,982,871	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 極めて高い	4 普通	5 普通					
	給食センター運営事業 (50104020,50104170)		17,360,627	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 極めて高い	4 普通	5 普通					
			739,761,761	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 極めて高い	4 普通	5 普通					
			716,821,413	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 極めて高い	4 普通	5 普通					
22,940,348		1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 極めて高い	4 普通	5 普通							
			改善の効果		普通								

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価			
事務事業名		H27決算額(円)	事務事業評価								
		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価				
22	学校教育の充実 50105010	私立高校生への保護者の負担を軽減するため、授業料の一部を補助する。また、田原市奨学金制度は、田原市立中学校を卒業し、学業・人物ともに優れ、経済的に困難な生徒に田原市奨学金を支給し、高等学校への就学を支援する。	2,250,906	事務事業評価					近隣市町と比較検討し、本市の状況にあった必要な補助を行っているが、今後支援の拡充を検討する必要がある。	近隣市町と比較検討し、本市の状況にあった必要な補助を行った。	国、県制度の動向及び他市町の状況を把握し、公立高等学校との整合性を保ち、本市の状況にあった必要な補助が行えるよう、助成額、補助基準等の検討を引き続き行う。
			1,908,000	1 教育部 教育総務課	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通			
			342,906	2 三竹 雅雄	3 高い	4 普通	5 普通				
			2,441,306	3 高い	4 普通	5 普通					
			2,016,000	4 普通	5 普通						
	425,306	5 普通					改善の効果	普通			
23	学校教育の充実 50106010	田原福祉専門学校の学生を確保するため、進学情報誌やインターネットを活用した広報活動を実施するとともに、高校訪問、進学説明会やオープンキャンパスを実施し、県内外の高校教諭や生徒、社会人に対して本校に興味を持ってもらうようPRに努める。	14,229,062	事務事業評価					少子化や介護職に対する悪いイメージ、景気の上昇による製造業等の求人増加などにより、進路を介護に向ける学生が年々減少しており、全国の介護福祉士養成校の充足率は50%を割っている状況である。本校でも学校訪問等の学生募集活動を実施したが入学生は、定員に満たない状態である。	会場進学説明会の参加エリア拡大、学校訪問の訪問校数や高校を会場に行う説明会への参加を増やし、学校PRを行った。今年度の出願にはつながらなかったが、次年度以降につながる取組だと考える。	少子化や介護職に対する悪いイメージ、景気の上昇に伴う製造業等の求人増加などにより、進路を介護に向ける生徒が減少しており、介護施設の人材不足も深刻化しているため、来年度以降、外国人留学生の受入を行い学生および介護人材の確保を行う。
			6,018,706	1 健康福祉部 田原福祉専門学校	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通			
			8,210,356	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通				
			16,388,580	3 高い	4 高い	5 普通					
			5,780,548	4 高い	5 普通						
	10,608,032	5 普通					改善の効果	普通			
24	学校教育の充実 50106020	地域に開かれた福祉教育の拠点を目指すため、市民等を対象に公開講座を開催し、市内小中学校や高校の児童・生徒たちに対し、「1日体験入学」の実施や福祉の魅力を紹介する講座を開催する。また、専門性を活かし、介護や福祉について、より多くの市民に楽しく学んでもらうため、オープンカレッジを開講する。	2,342,391	事務事業評価					公立の学校として、市民が身近に福祉にふれる機会を提供するため、公開講座やオープンカレッジ等を開催している。受講者が少ないため、受講者確保の対策が必要である。	オープンカレッジについては、カリキュラムや日程を工夫し、市内回覧板で周知をした結果、前年度よりも多くの参加者が集まった。また、福江高校生に対する入浴実習を数年ぶりに再開、さらに田原中学校PTAに対し、学校紹介や施設案内をするなどし、学校、初任者研修等のPRを行った。	例年どおりの広報活動に加え、受講意欲を高めるような講座や講義内容及び日程の検討を行なう。また、他部署と連携し、訪問講座などを行い、地域福祉力の向上を図る。
			201,280	1 健康福祉部 田原福祉専門学校	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通			
			2,141,111	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通				
			4,859,969	3 高い	4 高い	5 普通					
			250,045	4 高い	5 普通						
	4,609,924	5 普通					改善の効果	普通			
25	学校教育の充実 50106030	田原福祉専門学校の適正かつ円滑な運営及び教育の充実のため、非常勤講師を任命し、2年課程の介護福祉士養成校として、地域や施設での実践等を通して、人間性豊かな介護福祉士を養成するために教育課程及び諸事業を実施する。	64,106,291	事務事業評価					早期に要支援学生を見極め、きめ細やかな支援を行い、休学や退学をする学生の減少に努める必要がある。また、国家試験義務化に向けての試験対策を行う必要がある。	学生の特性に合わせた対応を常に心がけ、学業の継続に繋がるよう個別指導した。	年度早期に要支援学生を見極めるため、入学後学力テストを行い、きめ細かな学習支援を行う。また、平成29年度からの国家試験義務化に対応するため、国家試験対策を充実する。さらに来年度以降、外国人留学生の入学が見込まれるため、日本語教員を非常勤講師として雇用し、学習支援を行う。
			11,284,566	1 健康福祉部 田原福祉専門学校	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通			
			52,821,725	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通				
			74,769,986	3 高い	4 高い	5 普通					
			14,913,774	4 高い	5 普通						
	59,856,212	5 普通					改善の効果	普通			
26	学校教育の充実 50106040	田原福祉専門学校の円滑な運営のため、施設・機械器具の保守委託業務等を実施し、校舎及び学生寮等が適正な状態で維持できるよう管理を行う。	22,773,386	事務事業評価					施設・設備等の老朽化に伴い、突発的な修繕や備品の買換え等が発生する可能性がある。	長期契約の継続や、消耗品などの購入を必要最小限で安価なものを選ぶなどの工夫を行った。	施設・設備の老朽化に伴い、修繕費用は増加することが予測される。予算の均一化を図るために年次ごとに計画的な施設補修整備を実施するとともに、早期メンテナンスにより適正な維持管理に努める。
			14,258,753	1 健康福祉部 田原福祉専門学校	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通			
			8,514,633	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通				
			18,760,604	3 高い	4 高い	5 普通					
			12,974,702	4 高い	5 普通						
	5,785,902	5 普通					改善の効果	普通			
27	学校教育の充実 50106080	安全、安心に施設利用できるよう施設整備を行う。	4,596,338	事務事業評価					施設・設備の老朽化に伴い、突発的な工事などが発生する可能性がある。	校舎内の照明をLED照明に変更し、省エネ及び飛散防止を図った。また、学生寮の外壁修繕及び防水シート改修工事を行い、施設維持を行った。	計画的に修繕を行い、施設及び備品等を長期間維持できるように努める。
			3,655,800	1 健康福祉部 田原福祉専門学校	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通			
			940,538	2 鶴飼 直行	3 高い	4 高い	5 普通				
			151,446,737	3 高い	4 高い	5 普通					
			147,513,960	4 高い	5 普通						
	3,932,777	5 普通					改善の効果	普通			
28	生涯学習の充実 50201010	生涯学習を通して人と人のつながりを多く持ち、人づくりを推進することにより街の活性化を図る。	32,423,097	事務事業評価					(現状) 社会教育審議会 5回開催 生涯学習情報誌 年3回発行 (H28上半期版含む) (課題) 情報通信技術の発達により、人と人とのつながりが希薄化する中で、改めて社会教育の必要性が増している。	・田原市生涯学習振興計画を策定した。 ・生涯学習情報誌の上半期版を前倒しで印刷した結果、年度当初から開催される教室や講座の受講生募集がスムーズに行えるようになった。	田原市生涯学習振興計画の着実な実施を通して、社会教育の推進と振興を図る。
			4,742,329	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い			
			27,680,768	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い				
			14,257,998	3 高い	4 高い	5 高い					
			3,809,114	4 高い	5 高い						
	10,448,884	5 高い					改善の効果	高い			

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価			
事務事業名		H27決算額(円)									
		内 直接事業費 内 人件費									
29	生涯学習の充実	市民の多種多様な学習要求に応えるため、講座等を開催し、市民の自主的な活動を促し、生涯を通して主体的に学び、心豊で生き生きと自立した人生を築く「きっかけづくり」を行う。また、仲間づくりを推進する。	10,859,266	事務事業評価					(現状) しおさい大学 12回 市民カレッジ 10教室 児童生徒文化体験教室 21教室 (課題) 自らの学びを発信する講師の登録が少ない。	多種多様な講座・教室の開催を通して、市民の学習意欲の高揚が図られた。	様々な事業で個人の学びや知識などを活用する学びの還元システムを構築する。(ボランティア講師の登録制度の構築等)
	50201020		1,685,441	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 普通	5 普通			
	生涯学習講座等開催事業		9,173,825	2 富田 成	3 高い	4 普通	5 普通				
			5,605,957	3 高い	4 普通	5 普通					
			1,007,170	4 普通	5 普通						
改善の効果	普通										
30	生涯学習の充実	生涯学習及び地域コミュニティ活動の拠点として、市民が安心・安全で楽しく利用できるような、市民館の修繕・工事・備品購入等により施設整備を図る。	157,796,182	事務事業評価					(現状) 地域により市民館の活用に差がある。 (課題) 地域コミュニティの拠点となるよう、運用しやすい体制の検討と主事研修などを通じた人的支援の強化が必要である。	市民館多目的ホール非構造部材等耐震改修工事など必要な施設整備を行った。	地域の人・文化の交流、コミュニティ活性化の拠点として、利用しやすい施設整備をすると共に、地域の活性化に資するため、主事研修など人的支援を強化する。
	50202010		105,966,678	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 普通			
	市民館運営事業 (50202010,50202020)		51,829,504	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 普通				
			267,611,936	3 高い	4 高い	5 普通					
			213,916,139	4 高い	5 普通						
改善の効果	普通										
31	生涯学習の充実	江比間野外活動センターの利便性を図り、より多くの利用者に良質のサービスを提供できるような施設の維持管理及び、運営を行う。(負担割合田原市50%、豊橋市50%)	24,694,828	事務事業評価					(現状) 利用者数 8,114人 (課題) 全体的に施設の利用者が減少傾向にある。利用者が安心して使用できるよう施設の老朽化対策への計画的な取組が必要である。	・専門業者による設備機器の保守点検を実施した。 ・施設・設備機器の整備(管理棟空調機器設置及び会議室空調機器取替工事)を実施した。	・施設の周知などをPRし、利用促進を図る。 ・当施設は、昭和50年に竣工した施設で経年劣化と塩害で、老朽化が進んでいる。適正な維持管理のため、計画的な改修・整備に努める。
	50202040		10,730,477	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い			
	江比間野外活動センター運営事業		13,964,351	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い				
			24,324,006	3 高い	4 高い	5 高い					
			9,423,022	4 高い	5 高い						
改善の効果	普通										
32	生涯学習の充実	市民の生涯にわたる学習活動を、読書支援及び課題解決支援の観点から積極的に援助し、かつ、交流とコミュニティ活動の推進に寄与するため図書館の管理運営を行う。	167,179,950	事務事業評価					・学校図書館が学習センターとして十分機能するため支援体制の充実が必要である。 ・読書や図書館利用は地域や年代による格差が大きく、障がい者等への施策も不十分である。 ・電子化への対応と、地域課題を解決するための図書館機能のさらなる充実が必要である。	8月に「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」を策定、同計画に基づき、学校図書館支援センター物流部門の試行開始、元気はいたつ便の本格実施、障がい者等へのサービスの充実にも努めた。渥美図書館は福江高校との連携、ティーンズキャラクター公募など、10代を中心に利用を促進した。	・「まち＊ほん 田原市生涯読書振興計画」の重点施策の実現に努める。 ・市内外の機関・団体と協力し、地域課題の解決に貢献するような図書館サービスを構築していく。 ・図書館運営の効率化と資料・サービスのデジタル化を実現するための図書館システムの更新を行う。
	50203010		56,156,540	1 教育部 図書館	2 豊田 高広	3 高い	4 高い	5 普通			
	図書館運営事業		111,023,410	2 豊田 高広	3 高い	4 高い	5 普通				
			142,484,268	3 高い	4 高い	5 普通					
			25,653,367	4 高い	5 普通						
改善の効果	高い										
33	生涯学習の充実	市民の資料や情報に対する要求に応え、中央図書館・赤羽根図書館・渥美図書館及び移動図書館いずみ号・やしの実号の資料の収集を行う。	56,756,679	事務事業評価					読書や課題解決等のニーズに応える資料を積極的に収集、展示を行って利用促進を図り、多数のリクエストにも応えた。また、学校司書等と連携、移動図書館や学校図書館支援センター物流部門を活用して、学校の授業や読書活動で活用する資料を提供した。	・人口当たりの資料貸出数は、全国的にトップクラスだが、近年、減少傾向が続いているため、資料に対するニーズの変化について、貸出が低調な中高生、高齢者をはじめ、特徴的な集団ごとの分析と対策が必要である。	・図書館の利用が低調な層をはじめ、特徴的な集団ごとにニーズや障害となる要因を分析し、対策を検討、実施する。 ・職員の選考能力を高めることにより、市民の課題解決に役立つ資料をはじめ要求の高い資料を系統的に収集・提供する。
	50203020		40,117,308	1 教育部 図書館	2 豊田 高広	3 高い	4 普通	5 高い			
	図書館資料収集事業		16,639,371	2 豊田 高広	3 高い	4 普通	5 高い				
			64,131,450	3 高い	4 普通	5 高い					
			40,798,535	4 普通	5 高い						
改善の効果	普通										
34	スポーツの振興	スポーツを行う環境の充実と、スポーツ振興に係る関係機関との連携により、スポーツの推進を図る。	34,508,522	事務事業評価					スポーツ推進委員活動の充実とスポーツ普及活動の推進 全国大会等に出場する選手に対して、激励金を支給 スポーツ推進計画の策定 オリンピック誘致活動の実施 ニュースポーツへの取組や、普及拡大が課題となっている。	スポーツ推進のため「田原市スポーツ推進計画」を策定した。 ノルディックウォーキングの普及を図った。 東京オリンピックを地方から盛り上げるため、会場誘致活動を行った。	推進計画の進捗状況を把握し、柔軟に計画の推進を図る。 ニュースポーツ普及のための方法を検討する。 国際大会に限らず、スポーツ大会の誘致を行う。
	50301010		8,764,591	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 高い	4 高い	5 普通			
	スポーツ振興事業		25,743,931	2 大羽 耕一	3 高い	4 高い	5 普通				
			37,917,651	3 高い	4 高い	5 普通					
			22,497,334	4 高い	5 普通						
改善の効果	普通										
35	スポーツの振興	スポーツ振興のため、体育協会やスポーツ少年団の支援を行い、スポーツ教室・スポーツフェスティバルの参加を通して人間性の育成と市民の健康づくりの推進を図る。	9,337,071	事務事業評価					体育協会、スポーツ少年団の両団体とも、人口減少により、会員数及び団員数が減少し組織の規模が縮小傾向である。	団体活動の充実を図るため、活動費の補助を行った。	団体活動の充実を図るため、事業支援と、指導者の質の向上を図る。 団体と連携し事業内容を充実させ、会員数を維持する。
	50301040		5,573,000	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 普通	4 普通	5 普通			
	スポーツ団体支援事業		3,764,071	2 大羽 耕一	3 普通	4 普通	5 普通				
			12,155,032	3 普通	4 普通	5 普通					
			7,544,000	4 普通	5 普通						
改善の効果	普通										

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名 2 評価責任者氏名								
	事務事業名		H27決算額(円)	事務事業評価								
			内 直接事業費 内 人件費	3 妥当性評価 4 有効性評価 5 効率性評価								
36	スポーツの振興	市内の全小中学校の屋内運動場、武道場、屋外運動場等を学校教育に支障のない範囲でアマチュアスポーツの定期的な活動場所として市民に開放する。	<b>9,037,439</b>	事務事業評価					身近な学校施設をスポーツの場として利用することで、地域のスポーツの振興に寄与している。学校施設開放利用者が拡大する中で施設の利用調整が課題となっている。	利用者の利便性向上のため、破損した器具の更新を行った。	学校施設の公正な利用の推進に努め、地域スポーツの推進を図る。	
	50302010		3,886,045	1 教育部 スポーツ課								
	学校施設開放事業		5,151,394	2 大羽 耕一								
			<b>7,440,301</b>	3 普通								
			4,054,456	4 普通								
		3,385,845	5 普通						改善の効果	普通		
37	スポーツの振興	市民が生涯にわたり身近な環境でスポーツを楽しむ機会を提供し、市民の体力増強及び健康増進に寄与できるような各種大会を実施する。	<b>9,623,723</b>	事務事業評価					中学生スポーツ教室の開催 スポーツ健康講座の開催 ウォーキング大会等の開催 スポーツ教室の種目拡大が必要となっている。	PRチラシのほかに、スポーツ推進委員を通じ校区での参加を促した。また、前回参加者へ通知し参加を促した。教室や大会を開催することで、技術の向上やスポーツ人口の増加につながっている。	スポーツを始めるきっかけを提供できるような教室や大会を実施し、スポーツを楽しむ環境づくりを進める。スポーツ推進委員が実施する健康講座の充実を図る。	
	50302020		1,447,063	1 教育部 スポーツ課								
	スポーツ大会開催事業		8,176,660	2 大羽 耕一								
			<b>6,755,625</b>	3 高い								
			1,586,261	4 普通								
		5,169,364	5 普通						改善の効果	普通		
38	スポーツの振興	各種団体が開催する大会を支援し、田原市の魅力を国内外に発信する。	<b>35,072,348</b>	事務事業評価					トライアスロン大会の開催 サーフィン世界大会の開催 全日本級別サーフィン大会の開催 実業団駅伝大会の開催 早期の渥美半島駅伝の復活が必要である。	トライアスロン大会では、選手が地域住民と接する機会を作るため、前夜祭を実施した。また、前夜祭会場とゴールを一緒にすることで大会会場の合理化を図った。大会を支援することで地域の活性化の実現と、知名度の向上につながっている。	サーフィン、トライアスロン、駅伝大会の開催を支援することで、スポーツが盛んな街としてのイメージを発信し、多くのスポーツ愛好家が訪れる街づくりを進める。渥美半島駅伝の復活に向けて豊橋市を始め関係者と協議、調整を行う。	
	50302040		16,000,000	1 教育部 スポーツ課								
	スポーツ大会支援事業		19,072,348	2 大羽 耕一								
			<b>32,706,329</b>	3 高い								
			19,450,000	4 高い								
		13,256,329	5 普通						改善の効果	高い		
39	スポーツの振興	市民にスポーツ活動の場を提供し、安全に安心して利用できる施設を目指し、施設の安定した維持管理を行う。	<b>12,373,062</b>	事務事業評価					市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	専門業者による設備の保守点検を実施 経年劣化による故障箇所の修繕を実施(北口外壁修繕、アリーナ系統空調圧縮機修繕)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性も考え、計画的な修繕等を実施する。	
	50303010		9,846,437	1 教育部 スポーツ課								
	総合体育館運営事業		2,526,625	2 大羽 耕一								
			<b>12,705,446</b>	3 高い								
			7,279,482	4 高い								
		5,425,964	5 普通						改善の効果	普通		
40	スポーツの振興	スポーツ施設(体育館・野球場・多目的広場・テニスコート・弓道場)の拠点として重要な役割を担っており、施設の安定した維持管理を行う。	<b>58,662,527</b>	事務事業評価					市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	専門業者による設備の保守点検を実施 施設設備の充実を図る工事を実施(防球ネット改良工事、エレベーター設置、非構造部材耐震工事)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性も考え、計画的な修繕等を実施する。	
	50303020		43,894,569	1 教育部 スポーツ課								
	渥美運動公園運営事業		14,767,958	2 大羽 耕一								
			<b>89,204,482</b>	3 高い								
			75,165,969	4 高い								
		14,038,513	5 普通						改善の効果	普通		
41	スポーツの振興	市民にスポーツ活動の場を提供し、優れた施設でスポーツに親しむために、施設の安定した維持管理を行う。	<b>13,120,286</b>	事務事業評価					市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	経年劣化や消耗による施設修繕を実施(多目的広場修繕、テニスコート人工芝修繕、防球ネット修繕)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性も考え、計画的な修繕等を実施する。	
	50303030		7,380,603	1 教育部 スポーツ課								
	中央公園スポーツ施設運営事業		5,739,683	2 大羽 耕一								
			<b>15,242,306</b>	3 高い								
			7,528,965	4 高い								
		7,713,341	5 普通						改善の効果	普通		
42	スポーツの振興	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	<b>26,792,025</b>	事務事業評価					市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 パターゴルフ場など、施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	指定管理者(田原造園組合)による適切な管理運営を実施 施設の利便性向上を図る(女子トイレ改修、センターハウス雨漏れ修繕、多目的広場照明修繕)	市民が安全・安心して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。	
	50303040		23,951,069	1 教育部 スポーツ課								
	緑が浜運動公園運営事業		2,840,956	2 大羽 耕一								
			<b>28,595,410</b>	3 高い								
			25,999,866	4 高い								
		2,595,544	5 普通						改善の効果	普通		

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名 2 評価責任者氏名								
	事務事業名		H27決算額(円)	事務事業評価								
			内 直接事業費 内 人件費	3 妥当性評価 4 有効性評価 5 効率性評価								
43	スポーツの振興	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	<b>13,710,456</b>	事務事業評価					・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・指定管理者(田原区)による適切な管理運営を実施 ・施設の利便性向上を図る(野球場スコアボード整備、野球場ナイター照明修繕)	市民が安全・安心して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。	
	50303050		11,416,547	1 教育部 スポーツ課								
			2,293,909	2 大羽 耕一								
	滝頭公園スポーツ施設運営事業		<b>64,214,181</b>	3 高い								
			60,215,807	4 高い								
		3,998,374	5 普通						改善の効果	普通		
44	スポーツの振興	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	<b>11,048,158</b>	事務事業評価					・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・指定管理者(白谷区)による適切な管理運営を実施 ・施設の利便性向上を図る(倉庫改修)	市民が安全・安心して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。	
	50303060		9,027,773	1 教育部 スポーツ課								
			2,020,385	2 大羽 耕一								
	白谷海浜公園陸上競技場運営事業		<b>14,947,797</b>	3 高い								
			12,036,543	4 高い								
		2,911,254	5 普通						改善の効果	普通		
45	スポーツの振興	市民にスポーツ活動の場を提供し、安心安全に利用できる施設を目指し、安定した維持管理を行う。	<b>20,023,375</b>	事務事業評価					・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・専門業者による設備の保守点検を実施 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施(多目的ホール床修繕、研修室空調機器設置)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性も考え、計画的な修繕等を実施する。	
	50303070		9,317,920	1 教育部 スポーツ課								
			10,705,455	2 大羽 耕一								
	赤羽根文化広場運営事業		<b>13,886,868</b>	3 高い								
			5,776,554	4 高い								
		8,110,314	5 普通						改善の効果	普通		
46	スポーツの振興	地域のスポーツ活動の場として重要な役割を担っており、広場の安定した維持管理を行う。	<b>3,646,133</b>	事務事業評価					・地域のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 ・施設の老朽化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・専門業者による設備の保守点検を実施 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施(トイレ照明器具取換)	地域の方が安全・安心して利用できる運動施設として、安定した維持管理を実施する。	
	50303080		2,714,371	1 教育部 スポーツ課								
			931,762	2 大羽 耕一								
	地域運動公園運営事業		<b>4,332,400</b>	3 普通								
			3,338,517	4 普通								
		993,883	5 普通						改善の効果	普通		
47	青少年健全育成	青少年施策を関係団体と協議し、青少年の健全育成を推進する。各校区に青少年健全育成推進員を委嘱し、校区の青少年健全育成を推進する。	<b>14,774,556</b>	事務事業評価					(現状) 青少年問題協議会 2回開催 青少年健全育成推進協議会 2回開催 子ども・若者支援地域協議会 2回開催 総合相談窓口の相談件数 延べ756件 (課題) 子ども・若者相談の体制整備と相談員等の心のケアが必要となっている。	・学校と青少年健全育成推進員の情報交換を行い、連携の強化が図られた。 ・子ども・若者支援地域協議会を開催して、関係機関の連携の強化が図られた。	・青少年健全育成関係機関の連携体制の構築。 ・子ども・若者総合相談窓口相談員等へのメンタルヘルスカウンセリングを実施し、相談員等の心のケアに努める。	
	50401010		5,294,338	1 教育部 生涯学習課								
			9,480,218	2 富田 成								
	青少年健全育成推進事業		<b>15,215,806</b>	3 高い								
			5,287,149	4 高い								
		9,928,657	5 普通						改善の効果	高い		
48	青少年健全育成	保護者等に対して家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭教育の重要性についての共通理解と意識を深め、家庭・学校・地域が連携して青少年健全育成を推進することにより、家庭教育力の向上を図る。	<b>1,689,495</b>	事務事業評価					(現状) 幼児教室等 17保育園、1幼稚園 家庭教育啓発講演会 9小学校 2中学校 (課題) 小学校での実施が減少傾向にある。	講演会の実施を通して、家庭教育の重要性の理解を深めることができた。	保育園・小中学校等へ情報提供や企画提案を行い、より充実した学習機会を提供し、家庭教育の推進を図る。	
	50401030		637,780	1 教育部 生涯学習課								
			1,051,715	2 富田 成								
	家庭教育推進事業		<b>1,825,888</b>	3 高い								
			635,000	4 高い								
		1,190,888	5 普通						改善の効果	普通		
49	青少年健全育成	大人になったことの責任を自覚し、豊かな人間性を持った大人として活躍してもらうことを期待し、激励するために記念式典を開催する。	<b>2,817,156</b>	事務事業評価					(現状) 成人式参加者 644名 参加出席率約7割 例年並み (課題) 実行委員会が主体となり式典内容を協議していくことが望ましいが、何度も会議をもたず現状で満足する成人も多いため、協議しても例年通りで良いという結果になる。	手話通訳及び要約筆記を実施した。 内容について、実行委員会が検討したが、前年どおりの開催となった。	成人式実行委員会(中学校区代表の7名)と、より魅力ある式典にするための検討を行う。	
	50401040		1,534,784	1 教育部 生涯学習課								
			1,282,372	2 富田 成								
	成人式運営事業		<b>3,354,886</b>	3 高い								
			1,517,460	4 高い								
		1,837,426	5 高い						改善の効果	普通		

No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
事務事業名			H27決算額(円)	事務事業評価									
			内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
50	芸術文化の振興	市民の芸術文化活動を振興するため、発表の場の提供や事業委託により意識の高揚を図り、芸術文化団体や市民グループ等の育成を支援する。	11,430,997	事務事業評価					(現状)音楽祭、文化祭、文化ホール事業等 森公美子コンサート参加者 615人 名フィルコンサート、ワークショップ 参加者 602人 (課題)文化協会の会員数の減少や文化ホール事業が減少傾向である。	市民団体の企画を必要に応じてサポートしながら、コンサート等を開催した。	市民活動の自発的な企画・運営支援を継続的に行う。		
	50501010		6,059,150	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 普通					
			5,371,847	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 普通					
			9,799,277	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 普通					
			5,388,071	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 普通					
			4,411,206	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通			
51	芸術文化の振興	生涯学習施設の拠点として重要な役割を担っており、施設の安定した維持管理を行う。	132,118,333	事務事業評価					・市民の芸術文化活動の活性化や意識の向上のため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるように計画的な整備が必要である。	・専門業者による設備の保守点検を実施 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施(文化ホール照明設備修繕、熱源設備修繕)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性も考え、計画的な修繕等を実施する。		
	50503010		108,502,769	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 高い	4 高い	5 普通					
			23,615,564	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 高い	4 高い	5 普通					
			112,206,014	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 高い	4 高い	5 普通					
			87,191,165	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 高い	4 高い	5 普通					
			25,014,849	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通			
52	芸術文化の振興	市民に文化活動の場を提供し、優れた舞台芸術に接するために、施設の安定した維持管理を行う。	27,571,708	事務事業評価					・市民の芸術文化活動の活性化や意識の向上のため、活動場所となる施設の適切な管理及び運営が必要である。 ・平成25年4月から農業者トレーニングセンターについては耐震強度不足のため休館となっている。	・専門業者による設備の保守点検を実施 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施(リミットスイッチ取替、開閉幕操作ロープ及び開閉幕用ランナー取替)	農業者トレーニングセンター等の廃止と、廃止後の跡地利用については、他施設との複合化等地元の声を取り入れ検討していく。 文化会館の経年・機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性も考え、計画的な修繕等を実施する。		
	50503020		21,412,494	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 普通	4 普通	5 普通					
			6,159,214	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 普通	4 普通	5 普通					
			25,001,794	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 普通	4 普通	5 普通					
			20,370,235	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 普通	4 普通	5 普通					
			4,631,559	1 教育部 スポーツ課	2 大羽 耕一	3 普通	4 普通	5 普通	改善の効果	普通			
53	芸術文化の振興	生涯学習の拠点施設としての(文化ホール・農村環境改善センター)の適正な管理運営を行う。	49,574,366	事務事業評価					施設および設備等の老朽化による傷みが著しく、機器の故障等も発生している。施設全体の経年劣化に対応する整備計画に沿って、実施していく必要がある	施設設備の修繕工事を行い、保守点検等適切な維持管理を行うことで利用者が安心して、安全に利用できた。	施設及び設備等の老朽化による不具合も発生しているため、今後の利用状況を検討し、整備、補修を実施して行く。		
	50503030		32,368,057	1 渥美支所 地域課	2 小久保 順一	3 高い	4 高い	5 普通					
			17,206,309	1 渥美支所 地域課	2 小久保 順一	3 高い	4 高い	5 普通					
			46,189,157	1 渥美支所 地域課	2 小久保 順一	3 高い	4 高い	5 普通					
			29,631,175	1 渥美支所 地域課	2 小久保 順一	3 高い	4 高い	5 普通					
			16,557,982	1 渥美支所 地域課	2 小久保 順一	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通			
54	芸術文化の振興	茶華道愛好者の拠点施設として重要な役割を担っており、会館の安定した運営及び維持管理を行う。	6,392,932	事務事業評価					27年度の年間利用者13,220人であり、茶華道の拠点施設として、文化の継承、学習機会を広く市民に提供することができた。	施設の適正な維持管理を行うことで、施設の長寿命化を図ることができた。	現状を維持するため、施設の適切な維持管理を行うとともに、他施設との連携による利用者増加の工夫に取り組む。関係団体との協働による適正管理を推進する。		
	50503040		3,925,173	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 高い	5 普通					
			2,467,759	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 高い	5 普通					
			5,755,479	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 高い	5 普通					
			2,992,360	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 高い	5 普通					
			2,763,119	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	普通			
55	芸術文化の振興	生涯学習の拠点として、利用者が安全で安心して利用しやすい運営に努め、多くの市民が生涯学習に親しむことができるように施設の整備を図る。	0	事務事業評価					(現状)施設の老朽化により優先順位の高いものから改修工事を行った。 (課題)安心して安全な利用を提供するため、施設の老朽化に伴う改修を行い、適正な管理運営をする必要がある。	生涯学習の拠点として、利用者が安全で安心して利用しやすい運営に努め、施設整備(渥美農村環境改善センター空調改修工事)を実施した。	中長期的な設備機器改修計画を策定して適切な維持管理に努め、利用者が安心・安全に芸術文化を親しめるよう耐震改修を行う。		
	50503070		0	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い					
			0	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い					
			28,729,440	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い					
			28,036,800	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い					
			692,640	1 教育部 生涯学習課	2 富田 成	3 高い	4 高い	5 高い	改善の効果	高い			
56	文化財の継承	・埋蔵文化財の保存・活用を図るため、出土資料の整理や台帳整備を行う。 ・国、県と連携し保美貝塚等遺跡調査を実施する。 ・公共工事等に伴う現地立会や現地調査を適宜実施する。	25,969,473	事務事業評価					公共工事や開発行為等に伴う埋蔵文化財発掘調査等が増加し、対応が困難となってきた。また、収蔵方法の検討も課題となっている。	国庫補助事業としての遺跡調査(保美貝塚)の実施。 集約的な作業実施により資料整理の効率性が高まった。また、遺跡調査(保美貝塚、製塩遺跡)は、その成果が顕著にみられた。	計画的な埋蔵文化財資料の保管・整理、継続的な遺跡調査(保美貝塚)を推進する。また、成果については、市民に還元できるよう展示などを活用すると共に、収蔵の方法、調査体制について検討を進める。		
	50601010		5,638,186	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 普通	5 高い					
			20,331,287	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 普通	5 高い					
			25,633,588	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 普通	5 高い					
			4,358,932	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 普通	5 高い					
			21,274,656	1 教育部 文化財課	2 鈴木 利昌	3 高い	4 普通	5 高い	改善の効果	高い			



No	施策名	事務事業の目的	H26決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成27年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成28年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)			
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	1 担当部課名 2 評価責任者氏名										
	事務事業名		H27決算額(円)	事務事業評価										
			内 直接事業費 内 人件費	3 妥当性評価 4 有効性評価 5 効率性評価										
57	文化財の継承	文化財保護審議会による文化財保護の推進と文化財の啓発・啓蒙を図る。	9,253,427	事務事業評価					文化財保護を推進する上で、文化財指定の必要性が高く、文化財指定を進める。指定文化財、登録文化財の調査を積極的に進め、適正な管理を図る必要がある。	・文化財の啓発を図るため、継続的に広報やホームページを通じて情報発信した。 ・文化財保護の中心的機関である文化財保護審議会から専門的指導を得た。	・文化財保護の基軸となる文化財の指定を進めるため、指定文化財候補の調査を行う。 ・指定文化財の調査を進める。 ・広報やホームページを積極的に活用し、情報発信を継続的に行い市民の理解を深める。			
	50601020		4,717,519	1 教育部 文化財課								改善の効果	普通	
	文化財保護事業		4,535,908	2 鈴木 利昌										
			12,153,396	3 高い										
			7,427,377	4 普通										
4,726,019		5 普通												
58	文化財の継承	地域で守られている伝統文化の継承と、後継者の育成を図る。また、ふるさと学習の推進を図るため、出前講座等の開催や文化財刊行物を発行する。	1,670,661	事務事業評価					後継者の育成やふるさと学習の推進を図るため、地域の伝統文化・伝統食の調査等を行っていく必要がある。文化財保護事業費補助金の基準が明確でない部分があるため明確にする必要がある。	・地域の歴史・文化を継承する目的で、出前講座や普及啓発資料等の活用等により、ふるさと学習の推進を図った。 ・博物館の展示と連携して、刊行物の発行を行い、効率化を図った。	・出前講座や普及啓発資料等を活用し、ふるさと学習を推進する。 ・文化財刊行物を発行する。 ・地域の伝統文化・伝統食の調査等を進める。			
	50602010		1,181,200	1 教育部 文化財課								改善の効果	高い	
	文化継承推進事業		489,461	2 鈴木 利昌										
			15,391,800	3 高い										
			562,400	4 高い										
14,829,400		5 高い												
59	文化財の継承	歴史資料の収集、整理、保存を通して本市の歴史を取りまとめることより、本市の歴史と文化の継承を図る。	39,273,110	事務事業評価					渥美町史は平成17年の閉町まで刊行済み田原町史、赤羽根町史は、空白期間あり田原・赤羽根史現代編編集委員会(委員14人、協力員1人)平成27年度20回/年開催分担による資料調査・執筆と原稿審議平成28年度発刊予定	現代編編集委員会を中心とした資料調査の成果を事務局の書架に整理、保管し、また、史料類の一部はデジタル化することにより、歴史的資料の適正な保存に結び付けている。	平成28年度に「田原・赤羽根町史現代編」を刊行後、(仮称)「田原市史」の編さん、編集に向けた調査、研究、執筆の体制を構築すると共に、市史編さんに関わることのできる人材(後継者)の育成に取り組んでいく。			
	50602020		5,944,976	1 教育部 文化財課								改善の効果	高い	
	市史編さん事業		33,328,134	2 鈴木 利昌										
			12,656,220	3 高い										
			3,675,538	4 高い										
8,980,682		5 普通												
60	文化財の継承	田原市博物館は重要文化財や重要美術品、田原藩関係資料等を収蔵しており、企画展、講座等の開催、平常展展示替、刊行物により、より多くの所蔵資料の展示公開を行う。	88,929,141	事務事業評価					H27入館者数:博物館16,624人(58人/日)、渥美郷土資料館9,157人(30人/日)、民俗資料館3,426人(12人/日)、企画展の開催(6本)や秋の企画展の長期開催により入館者数増加。資料収集:購入(51点)、寄贈:美術・歴史・民俗資料(23件)、移管:歴史・民俗資料(1点)	時期を捉えた展覧会の開催や普及活動により入館者数を増加させることができた。重要文化財をはじめとした郷土ゆかりの作品を展示公開することができた。空調設備の改修により、博物館資料のより適切な収蔵・管理が行えるようになった。	新規入館者の獲得を目指し、幅広いテーマや年齢層に対応した展覧会を実施する。展覧会開催時のイベントや講座を開催し、ふるさと学習の充実を図る。歴史・民俗・美術資料を再整理し、今後の事業に活用する。次世代を担う後継者(学芸員)の育成に取り組む。			
	50603010		54,642,114	1 教育部 文化財課								改善の効果	高い	
	博物館運営事業		34,287,027	2 鈴木 利昌										
			123,055,773	3 極めて高い										
			76,690,033	4 高い										
46,365,740		5 高い												
61	文化財の継承	施設の適切な維持管理を行うとともに、利用者が安全で安心して利用しやすい運営に努め、常設展示や刊行物により、所蔵資料の展示・公開を行う。	11,517,863	事務事業評価					利用者が安心して利用できるよう、修繕等の適切な維持管理に努める必要がある。	施設の修繕や機器の保守点検等の維持管理を行い、利用者が安全に安心して観覧できた。	利用者が安心して利用できるよう、施設の修繕等を行い、適切に維持管理する。			
	50603020		1,501,260	1 渥美支所 地域課								改善の効果	普通	
	渥美郷土資料館管理事業		10,016,603	2 小久保 順一										
			12,272,350	3 高い										
			1,573,915	4 普通										
10,698,435		5 普通												
62	文化財の継承	国指定史跡「吉胡貝塚」の考古文化遺産としての活用を図り、吉胡貝塚史跡公園(シェルマよしこ)の効率的な運営・管理を行って、広く市民に歴史・文化の学習機会を提供する。	21,341,035	事務事業評価					H27年度の観覧者数 計13,120人の利用があった。26年度の観覧者5,660人(18人/日)、体験学習参加者7,454人(24人/日)であり、積極的なPR活動を行うとともに、運営面でも体験学習メニューの多様化を図った。「縄文まつり」など新しい事業に取り組んだ。	ふるさと学習を推進した結果、小中学校をはじめとする学習の支援回数、利用実績が平成27年度比で17%増加した。	展示替えが無い中で、観覧者・体験学習参加者数を増やし、市外の利用者など、新しい利用者の開拓を進めるとともに、引き続き積極的なPR活動や小中学校、広域における連携、体験学習メニューの多様化を図り、安定的な利用者確保に努める。			
	50603030		7,168,135	1 教育部 文化財課								改善の効果	高い	
	吉胡貝塚公園運営事業		14,172,900	2 鈴木 利昌										
			15,840,480	3 極めて高い										
			7,260,507	4 高い										
8,579,973		5 普通												